

建設的野党として 「3つの仕事」にとりくみます

日本共産党は、総選挙で民主党中心の政権が成立した場合、建設的野党としての立場を堅持し、3つの仕事に取り組みます。

1 政治を前に動かす「推進者」として力をつくす

労働者派遣法の改正、後期高齢者医療制度の撤廃、障害者自立支援法の応益負担撤廃、核兵器廃絶へのイニシアチブ、企業団体献金の禁止など、どんな問題でも積極的提言を行います。そして国民の願いに即して一歩でも二歩でも政治を前に動かすため、一致点で他党との協力を追求し、国民運動と共同して力をつくします。



2 危険な政策の「防波堤」の役割を果たす

消費税増税の志向、憲法改定の推進、衆院比例部分の削減など、すでに民主党が表明している危険な政策を具体化する動きが起こった際には、それを許さない「防波堤」となって力をつくします。

3 民主連合政府をつくるため国民的共同を前進させる

「国民が主人公」の立場にたった民主的政権——民主連合政府をつくるための共同を前進させるために力をつくします。どんな問題でも、「財界・大企業中心」「軍事同盟絶対」の政治に代わる、真の対案を示し、政治の根本的転換に向けた国民的合意をつくりあげる努力を強めます。

衆議院選挙の
投票方法
（制度解説）

あなたには2票あります
比例代表は「日本共産党」と政党名を
候補者名で書くと無効になります
小選挙区は候補者名で投票します

「しん赤旗」を
お読み下さい
申し込みはお近くの
共産党事務所へ

共産党が伸びてこそ 日本の進路が開けます

さあ 総選挙

いよいよ、総選挙です。東京都議選は、自公政権ノアの厳しい審判となりました。国民を痛めつけてきた自公政権がこれ以上続くことは、「百害あって一利なし」です。自公政権を終わらせる決定的“審判”を下す選挙にしましょう。

総選挙では、日本の「進むべき道」の“選択”が問われます。日本共産党は、自公の悪政と正面からたたかい続け、国民の利益に立った「建設的野党」としての役割を果たす党です。日本共産党が前進してこそ、新しい日本の進路が開けます。



いまこそ

日本共産党

自公政権退場の決定的審判を

近畿民報

発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所
2009年7月号外

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目
15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

日本共産党は以上の
見解を発表しました。